

Q 売れる米づくりを



太田研光 議員

A 減農薬の特別栽培米で
売れる米づくり



こだわり米の米づくり

問 わが国の農業も、ウ
ルグアイ・ラウンドの世
界貿易の影響を受け、大
きく変換せざるを得ない。

平成15年には、国も米
政策を減反から品種によ
る生産量の割当制へと変
えた。今年は売れる米づ
くりを目標に仙南プロッ
クでは、減農薬による米
づくりがスタートした。

そこでお伺いします。
(1) 柴田町の米の品種の
選択や作付面積はどんな
傾向になっているか。

(2) 平成15年は天候不順

で不作となった。その教
訓から今年は田植えを遅
らせたが、その実績は。

(3) 水田農業ビジョンの
交付金は、担い手農家の
育成に役立つように使用
されているか。

答 滝口町長 (1) ひと
めぼれ87割、ササニシキ

5割、コシヒカリ2割で
す。特にひとめぼれは冷
害にも強く、栽培しやす
く、食味も良いことから
作付が伸びております。

(2) 田植えは昨年5月5

日で84割、今年は5月6
日で36割でした。

(3) 水田農業ビジョン交
付金の使途ですが、担い
手農家を主な対象とし、
育成してまいります。売
れる米づくりは、減農薬・
減化学肥料の仙南こだわ
り米とし、取り組んでま
います。しかし、柴田
町は兼業農家が72割も占
めており農業を支えあつ
てきた経緯もあり、兼業
農家にも助成する制度も
残す配慮をしております。

問 柴田町の結婚適齢者
は400〜500名とも言われて
おり、特に農村部におけ
る後継者問題は深刻です。
私は、NPO法人日中
交流促進協会で現在まで
に90組の国際結婚を成立

させたという話を聞き、
早速NPO法人副理事長
と有志を募り、4月に中
国の長春とハルピンを訪
れ、「日本人の花嫁さんに
なりたい」登録者と会い、
話を聞いてきました。

町が仲介となり、NP
O法人と協力しながら、
農村部の過疎化対策と花
嫁不足解消のために事業
を進めていくことはでき
ないか、町長に伺いたい。

Q どう対処する

結婚適齢者の嫁不足

A 行政はサポート役

その後は、結婚のため
の相談や出会いのための
各種イベントを実施して
いる宮城県青年交流推進
センターを希望者に紹介
し、参加いただいている
ところです。

また、結婚相談業務に

ついては個々人の希望を
尊重しながら対応してい
く必要があるため、NP
O法人や民間団体に実績

があるので、行政として
はそれをサポートしてい
くという姿勢をとってい
きたいと考えています。



伊藤一男 議員

